高志台 NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学園だより

Vol.175
2012. 8. 3発行

CONTENTS

02 …… 平成23年度 海外派遣研修等報告
03-05 …… 高専に入学して
06-07 …… 留学生からこんにちは
08 …… 新入生合宿研修報告
09 …… 第47回全国高専体育大会
10 …… 学生寮行事紹介
11-13 …… 専攻科だより
14-15 …… 新任教職員紹介
16 …… トピックス

★高志台（こうしだい）

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、"こしのくに"（越の国・古志の国・高志の国）と呼ばれていました。学生に高い志を持って欲しいとの願いと歴史上の地名とを関連させて、学校のある台地を「高志台（こうしだい）」と命名しました。

独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
Nagaoka National College of Technology
〒940-8532　新潟県長岡市西片貝町888 http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

国際交流推進センター

「WORLD IS WANTED YOU!」
世界に羽ばたけ!!

NNCT

国際交流推進センターでは，学生を海外に派遣し国際性を高める取組を行っており，これまでに140名以上の学生が海外研修に参加しています。平成23年度は中国とマレーシア・シンガポールに20名の学生海外派遣研修を実施しました。また，国際交流協会主催の国際理解教育プレゼンテーションコンテストにて最優秀賞を受賞した学生のうち４名が韓国スタディーツアーに参加しました。さらにタイの泰日工業大学や，中国，ベトナムの学校と本校との交流も計画しています。みなさん，海外研修や国際交流のことを「もっと知りたい!分かりたい!」と思ったら地球ラボに来てください。

中国
（H24 3/21 ～ 27）10 名

ハルビンにある黒龍江工程学院（学術交流協定校）と首都北京を訪れました。黒龍江工程学院では，実験施設の見学や現地学生との交流を行いました。学院の皆様が我々を遠方の朋として盛大な歓迎をして頂き，私たちは終止感謝の気持ちで満ち溢れていました。また餃子作りを現地学生とともに行い深い友情を育み，ハルビンを発つときには別れを惜しんで涙する学生もいるほどでした。北京では，世界遺産（故宮博物院・天壇公園・万里の長城など）を見学し，中国の歴史ある雄大な文化に触れました。お土産物屋でのディスカウントに挑戦したり，繁華街やスーパーにも足を運んだりと，日本とは異なる空気感を体験していました。「今までは中国に良いイメージを持っていなかったが，来てみて中国が大好きになった」という感想もありましたが，「みんなちがって，みんないい」を実感した学生達は，行く前よりさらに優しく成長して帰ってまいりました。

韓国スタディーツアー
（H24 3/24 ～ 27）

新潟県国際交流協会の方々，新潟市立早通中学校（中学部門で最優秀賞）の方々と本校からは留学生と引率を含む５名が参加し，大韓民国の首都ソウルで行われました。このスタディーツアーでは韓国の伝統文化体験（太鼓チャング，伝統劇「MISO」鑑賞），現地の水洛中学校の生徒さんとの交流（ホームビジット・授業見学・生徒会の生徒さんとの交流会など），さらには世界遺産見学，市場散策も随所で行いました。参加した学生達は現地の中学生とその家族，市場やガイドの方との交流等多くの日程内の機会だけに捕われず時間外でも自分達で電車やバスに乗り人に道を聞き買い物に行き，また早通中学校の生徒さん達とも積極的に関わり短い４日間を最大限に生かすように楽しみ学びました。今回のツアーで彼らが得たものは終始その表情に出ていたものと言えるのではないでしょうか。

マレーシア・シンガポール
（H 24 3/21 ～ 27）10 名

マレーシア（クアラルンプールとマラッカ）そしてシンガポールを訪れました。このグループでは，陸路による国境越えをテーマに様々なアクティビティを通して，訪れた土地の文化や歴史などを学びました。そして，結婚式への参加や文化探訪を通して現地の方々との交流を図りました。みんなこれまでに習ってきた英語を活用し，買い物や食事を楽しんでいました。また，シンガポールでは世界トップクラスの研究所や大学の見学も行いました。途中，様々なトラブルにも見舞われましたが，その度にチーム一丸となってそれらを乗り切り，人間として一回り大きく成長したと感じています。今回の研修を通して，国際的な視野を養うと同時に，一人間としての成長やチームの団結力を深める事が出来き，学生自身も実りある良い経験になったと感じております。

高専に入学して

高専に入学して

機械工学科1年　**清水　龍之介**

高専に入学して，もう４か月になりました。入学式では周りはみんな知らない人ばかりで不安でしたが，今ではすっかり仲良くなることができました。クラスのみんなはとても個性的で笑いの絶えない毎日を送っています。私は高専に入って本当によかったと思っています。機械工学科は男子だけのクラスですが，それでも毎日明るい高専生活を送っています。

また，高専でしか体験できない「機械工学実験実習」は私にとって非常に魅力的でした。フライス盤や旋盤など鉄が鉄をけずるという不思議な加工の仕組みや原理を学ぶことができて，とてもうれしく思っています。

さて，勉強では中学校との勉強量の違いにおどろいています。やっぱり多いです。社会が世界史と現代社会にわかれていたり，また，国語や英語で辞書を使う回数が増えたり，毎日受験勉強の如く勉強をしています。そしてテスト，数学の不自然な単位の多さ……無事に卒業できるのか，はやくも心配になってきました。

高専生活での思い出

電子制御工学科1年　**高松　哲哉**

僕は高専に来てから，生活が180度変わり，寮生活，部活，学習内容の増加などによって，毎日忙しい日々が続いています。しかしその生活の中にも楽しい事も多々ありました。その中の二つを紹介します。

一つ目は，合宿研修です。まだ出会ったばかりのクラスメートと話し合ったり協力したりして親睦を深めました。そのお陰で教室の雰囲気ががらりと変わり，賑やかになりました。

二つ目はテスト勉強です。これは楽しかったというよりは，“頑張った思い出”という方が当てはまっています。僕は寮生なので同級生と一緒に勉強して互いの苦手教科を克服したり，上級生の方から過去問を貸してもらったりなどして，お互いにやる気を高めることができました。そのお陰で赤点がなかったので，達成感を得られ，今ではとても良い思い出となっています。

恐らく今後も授業内容が増えたり，部活がより本格的になり，忙しさが増していくと思いますがその分楽しさも増えていくと思うので，頑張って高専生活を充実したものにしていこうと思います。

高専に入学して

電気電子システム工学科1年　**中村　圭介**

私にとって高専に入学することが，前からの夢でした。一般高校では学べない，数多くの専門的知識を早くから学べるという点もその志望理由の一つです。私は高専に入学したとき，難しい勉強についていけるかとても不安でした。勉強はやっぱり中学と比べて難しくそして早く進むようになった印象を持ちます。それ故日々，授業前の予習，授業後の復習をしっかりしなければならないと改めて感じました。勉強は難しいですがそれは同時にためになり，面白くもあります。私にとって，電気電子工学基礎が今一番面白いです。雷の原理については，説明されてなるほどと思いました。

これから，ほかの人たちに遅れをとらないように一生懸命勉強してここで学んだ知識をどんどん自分に取り込んでいきたいと思っています。まだまだ高専生活は始まったばかりですが，将来のことを考えて一分一秒大切に毎日過ごしていきたいと思います。

最後に，電気電子システム工学科１年の皆さんとお世話になる先生方，これからよろしくお願いします。

高専に入学して

物質工学科1年　**佐野　友美**

中学に入った頃から長岡高専の物質工学科に入ることが私の目標でした。なぜなら，私は化学分野や宇宙に興味があって，専門の分野について学びたいと思っていたからです。入学できてとても嬉しかったですが，「入れた」ことで気を抜くのではなく，「これから」が一番大事です。このことを忘れないでいたいです。

私は，高専生活で後悔しないように目標を立てました。

一つ目は，勉強を頑張ることです。中学では勉強をちゃんとしなくても良い点数をとれた時もありましたが，入学式の時，先生もおっしゃっていた通り，真剣に勉強しないとついていけなくなります。二つ目は，高専生活を楽しむことです。高校より２年間も長い高専なので，高専生の間にたくさんの友達を作って，充実した生活を送りたいです。そして，思い出をたくさん作りたいと思います。

まだ私の高専生活は始まったばかりです。分からないことがたくさんあります。でも，これから多くのことを学ぶ中で，さらに目標を見つけていきたいと思います。

高専での生活

環境都市工学科1年　**堀澤　英太郎**

長岡高専に入学してから数か月が経ち，ここでの生活にかなり慣れてきました。最初はとても長く感じた90分授業も，今ではそれが普通に感じるようになり，慣れてきたことを実感します。また，初めての定期テストが終わり，高専での学習方法も分かってきたと思います。例えば，先生方が日頃から言っている，予習の大切さなどを学べました。次のテストに向けて，予習復習を行っていき，よりよい点を目指したいです。

また，これまで合宿研修や遠足などの行事に参加してきました。合宿研修では，出会ったばかりのクラスメイトと，親睦を深めることができました。遠足も，その仲間と楽しむことができてよかったです。このような行事や楽しい仲間と，これからの5年間を過ごせると思うと，とても楽しみです。

僕がこの高専を選んだ理由の一つに，学校の自由な校風があります。ですが，一人一人の自律があっての自由だと思います。だから，その自由の意味をまちがえず，これからの高専生活を楽しんでいきたいです。

高専に入学して

機械工学科4年　**宮下　歩**

長岡高専に編入して3か月近く経ちました。入学するまではあまり高専について知らなかったので驚いたことがたくさんあります。まず，授業時間が90分だということです。高専生にとっては当然のことかもしれませんが，編入生の私にとっては最初は慣れずにとても大変でした。次に驚いたことは，授業がない時間は学校に来なくてもいいというものです。高校では全く考えられず，高専は大学と同じ扱いということを認識しました。最後に驚いたことは赤点のラインです。高専4年からはテストの合格点が60点以上ということを聞き，冷や汗が出るほど驚きました。

編入前はクラスに馴染めるかなど不安でしたが，実際に入学するとクラスの雰囲気は良く，中学校の頃の知り合いもいたため早々とクラスに馴染むことが出来ました。学習面では，初めて習うことや今まで習ったことの発展的なこと，毎週あるレポートなどで苦労していますが，クラスメイトに協力してもらい何とかこなしています。

まだ高専には慣れていませんが，周りの人たちに早く追いつけるよう日々努力していきたいと思います。

高専に入学して

機械工学科4年　**塚原　北斗**

私が高専に編入学をしてあっという間に3か月経ちました。編入する前は高専の勉強についていけるか，クラスに馴染めるかなど心配事がいくつかあり春休みは不安の日々を送っていました。ですが，編入してみるとその心配事が吹き飛ぶくらいクラスの雰囲気はとても明るく，居心地のいい空間で馴染むことができました。

また学習面では高校時代に学習していないこともあり，時折授業の内容が理解できないことがあります。中には基礎的なことも理解できないこともあります。分からない点については友人に聞いたり，先生に説明してもらったりして，なるべくそれがなくなるようにしています。他にも高校と比べると，レポートを提出する頻度が高くなり課題を消化しても次から次へと新しい課題が出され日々課題に追われています。しかし図書館で調べたり友人から助言してもらったりして何とか消化しています。

まだ編入して慣れない点や分からない点があったりしますが高専に早く慣れ，なるべく時間を無駄に過ごすことのないようにし，将来を見据えて行動したいと考えています。

高専に入学して

電気電子システム工学科4年　**斎藤　匡浩**

高専に編入して思ったことは二つあります。一つ目はレポートが恐ろしく面倒だと言うことです。これまでパソコンを使ってレポートを作成したことなど無かったので本当に大変でした。特に1回目は，提出日が二つ重なるは，家の印刷機が新しく買ったパソコンに対応していないは地獄のようでした。いまでも実験の度に頭が痛くなります。

二つ目は，物理や電気回路の授業で，立てた式を微分方程式を使用して解くということが去年までの授業には無く，新鮮だと思いました。微分方程式自体はそんなに難しいものではないのですが，ハイパボリックやアーク，一部の積分の式など，高校の数学で扱わなかったものは解ききれないことが多いので歯痒い思いをしています。なので，解けない問題が無くなるよう勉強したいと思います。

最後に留年だけはしたくないので，テスト前に死に物狂いで勉強しないよう普段から勉強を続け，要領よく覚えるべき内容を理解したいと思います。

高専に入学して

電気電子システム工学科4年　**高橋　大地**

私は工業高校から編入しました。高校時代は電気科に在学していたので，電気電子システム工学科を選択しました。高校で電気工学と出会い，それが自分にとって相性のいい学問だったので，もっと深く勉強したいという信念を持って編入を決意しました。

高専に入って早くも2か月以上が経ち，最近では学校にも慣れてきました。勉強の方は，高校時代と比べるとより専門的な内容を学べるので，勉強のやり甲斐があります。ただ，高度な内容の授業もあるので，高校時代よりも勉強時間は格段に上がり，昔と比べると忙しい日々を送っています。

高専卒業後の進路に私は大学編入を考えており，ゆくゆくは研究職に就きたいと考えています。ですが工業高校出身の私は，専門科目においては対応できるのですが一般科目である数学，英語といった科目の勉強に苦労を感じています。大学編入試験は来年の夏ごろなのであと1年余りしかありません。それまでに一般科目の実力を上げるのが今の目標です。茨の道を選んだ私ですが，自分の夢に向かって頑張っていきます。

専攻科に入学して

電子機械システム工学専攻1年　**梅澤 将充**

専攻科に入学して早3か月が経ちました。中間テストも終わり，本科の新入生も長岡高専に慣れてきたのではないでしょうか。僕は昨年，いくつかあった進路の選択肢の中から長岡高専の専攻科を選びました。その理由の1つが本科5年時の卒業研究を継続して出来ることです。そのお陰で，自分が研究していることをより深く理解していくことを感じられています。また，専攻科にももちろん授業があります。その授業は本科よりも専門的なものとなっています。しかし，先生方は授業だけでなく質問にも熱心に答えてくれます。そのため，勉強に意欲的に取り組むことが出来ます。本科の皆さんも，自分で考えてみても理解が出来ない際には遠慮なく先生のところに質問に行くことをおすすめします。このように専攻科で学べることは多くあります。ですので，専攻科が皆さんの選択肢の1つになればよいと思います。

専攻科に入学して

物質工学専攻1年　**廣川　卓也**

時が過ぎるのは早いもので専攻科に入学して3か月が経ちました。この3か月間で感じたことが2つあります。

一つ目は，授業についてです。専攻科に入学してから今までは，授業時間が90分だったのが105分に変わりました。また，毎週のように多くの課題やレポートが出されるようになり，初めのうちは，うまく生活リズムが合わずに苦労していましたが，今では授業時間にも慣れ，課題やレポートも計画的に作成することがようやくできるようになりました。

二つ目は研究についてです。5年生の時とは違い，自分のことだけを考えずに，後輩のことも考えながら指導したうえで，自分の研究も行わなくてはいけません。最初は両立することが大変な時期もありましたが，今ではそれなりに両立できるようになりました。また，専攻科に入学してからは，5年生の時とは違う新たな研究テーマとなり，とてもやりがいのある研究に日々取り組んでいます。

これから，月日が経つにつれて生活や勉学の面で苦労することがあるかもしれませんが，専攻科に入学した仲間たちと助け合い，この2年間を充実したものにしていきたいと思います。

高専専攻科に入学して

環境都市工学専攻1年　**番場　俊介**

専攻科に入学して，早くも3か月が経ちました。専攻科での授業は1コマが105分と長く，どの授業でも毎回課題が出され授業自体は大変ですが，その分コマ数が少ないため，本科の時と比べて自由な時間が多く取れます。この時間を研究や勉強に費やすのはもちろんのことですが，趣味などに充て，より充実した専攻科生活が送れれば良いなと思います。ちなみに専攻科入学を機に新たな趣味として釣りを始めました。まだ始めたばかりでほとんど釣れていないので，どなたか釣れる場所があったら是非教えてください。

また，専攻科は他大学と違い，1年生のうちから研究に取り組めることに加え，本科での研究を引き続き行えるというのがとても魅力だと思います。本科と併せると3年間も同じ研究が出来るため，充実したものになります。研究に力を入れてみたいと思っている人は専攻科への進学をお勧めします。

今年の後期から来年にかけて就職活動も始まり，専攻科での2年間は人生において大事な期間となります。そのため，この2年間を有効に使い，希望通りの職に就けるように日々頑張っていきたいと思います。

留学生からこんにちは

機械工学科３年
レーチェン　ハイ
（ベトナム）

こんにちは。私はレーチェンハイと申します。東南アジアにあるベトナムから参りました。２年前から来日しました。東京でアルバイトしながら東京日本語学校に通っていました。日本のアニメや漫画が大好きで，大好物は寿司と焼きそばです。寮に入ってからは納豆が食べられるようになりました。長岡高専を選んだ理由は高専に入りたいのと先輩の勧めがあったからです。今年の４月から，機械工学科の３年生になりました。クラスは男ばかりですが，面白い人がいっぱいです。でも，女のクラスメイトもいたらもっといいなと思います。部活はフットサル部に所属しています。始めて来たころは知らないことが多かったが，チューターたちがいろいろなことを教えてくれたおかげで，だんだん慣れてきました。そして，先生や先輩や友達など誰でもやさしいです。皆さん，ども，ありがとうございます。この学校に来てから，新しい体験もできました。学校が行う留学生ための日本文化体験や1泊2日の日光や福島への旅行を参加して，楽しかったです。友達を百人作りたいですので，皆さん，これからもどうぞよろしくお願いします。

物質工学科３年
ヌル シュハダ ビンティ モハマド アズリ
（マレーシア）

皆さん，こんにちは。シュハダと申します。マレーシアから参りました。マレーシアで２年間INTECという学校で一生懸命に日本語を勉強して，やっと日本に留学ができるのは，とてもよかったと思います。しかし，私は日本語でしゃべるのはまだ上手ではないし専門の科目も下手だし，本当にできるかな日本に留学すると悩んでいました。

日本に来たばかりのとき，マレーシアにいる家族と友達のことを思い出し，ちょっと寂しく感じました。そして，また心配ことが出て来ました。それは，もし勉強が難しすぎるとか授業の中に先生の話を全然わかりませんとかということを悩んでいました。しかし，授業の中に先生がいつも助けてくれて，本当にありがたいです。それに，先輩達は生活や勉強に関するアドバイスをくれて，日常の生活に役に立ちました。先生や先輩のおかげで，日本に生活することが少しずつ慣れてきて，悩むこともだんだんなくなりました。クラスの皆も親切で面白い人達だと思います。

今もう２ヶ月間経ちましたが，感じられませんでした。それはどうしてかというと，みんなと遊んだり暮らしを過ごしたりすることを楽しんでいるからです。長岡高専を選んだのは本当によかったと思います。実は，高校のとき，日本語でしゃべるどころか，日本に留学するということは無理と思いました。今，日本に留学していても，信じられないです。この機会をもらって，本当に神様にありがたいです。これから，たくさん友達を作ったり日本の文化を体験したりしたいと思います。みんな，よろしくお願いします。

環境都市工学科３年
コスタンザ アルティア ニゴル
（マレーシア）

皆さん，こんにちは！コスタンザといいます。私はマレーシアから来ました。日本に来る前に，２年間マレーシアの高専予備教育学校で日本語を勉強しました。最初は，日本語を勉強するのが大変でした。なぜかというと，文法が難しいし，漢字もたくさんあったので，勉強がだんだん難しくなったからです。

私は日本に留学して本当によかったと思います。日本に来て，家族と離れたのがちょっと寂しいです。時々，家族のことを思い出して，ホームシックになります。でも，今は楽しく日本での生活を送っています。日本の習慣にもだんだん慣れてきています。友達ができて，一緒に勉強して，遊んで，みんなと仲良くなれました。長岡高専の先生達も優しいです。

日本はとてもきれいな国です。そして日本の文化はすごく面白いです。なので，これからは色々な日本の文化を体験したいと思います。それ以外にも，日本には興味をそそられるところがたくさんあります。

これからは長岡高専で一生懸勉強して，充実した学校生活を送っていきたいです。

みなさん，どうぞよろしくお願い致します。

環境都市工学科３年
チウ アイイン
（マレーシア）

環境都市工学科3年アイインです。マレーシアから来ました。日本に来る前に二年間日本語を勉強したといっても，あまり上手に話せないから，最初

はやっぱり不安がありました。しかし，皆が笑顔で私達を歓迎してくれて，とても感動しています。分からないことや言葉が沢山ありましたが，先生たちをはじめ，先輩とチューターとクラスメイトが心をこめて熱心に教えてくれるので本当にありがたいです。

私は優しい人が好きです。友達を作ることも大好きなので，他の学科の皆さんとも，他の国からの留学生とも，皆と仲良くしたいです。よかったら，ぜひ私と友達になってください。

日本に来て，まだ3か月しか経っていませんが，だんだんここでの生活に慣れてきました。長岡はまるで私の第二の家で，皆は私の大きな家族です。花見をしたり，着物を着たり，野球をしたりして，長岡で初めての経験をいっぱい積んできました。これからもきっと沢山面白いことが私を待っていると思うので，楽しみにしています。このように，日本に留学できるのは私にとってとても幸せなことです。長岡高専にきて良かったと思います。これからも日本での生活を楽しんで行きたいと思います。

よろしくおねがいします。(^-^)

環境都市工学科３年
グエン ティミン ヒエン
（ベトナム）

皆さんこんにちは。ベトナムから来たヒエンです。今年環境都市工学科3年生に編入して来ました。これから3年間，高専の友達と一緒に楽しく過ごしたいと思います。

入学したばかりの頃は，新しい環境や新しい友達，新しい勉強などに慣れることができるか不安でした。やはり，最初はうまく行きませんでしたが，困った時に周りの友達に“大丈夫？”と声をかけてもらって，とても安心することができました。これまで3か月間だけ高専での生活を過ごしましたが，高専に来て良かったと思っています。一緒に勉強して，一緒に野球して，一緒にご飯を食べて，一緒に笑いました。とても大切な友達が何人も出来て，みんなも自分を大切にしてくれて，今の生活がすごく幸せだと思っています。今まで何年か日本に住んでいましたが，本当に楽しいと思ったのは初めてでした。

これからもっと頑張って，勉強も生活もうまく行くようにしたいと思います。あと，せっかく日本に住んでいるので日本の文化や歴史なども学びたいです。ベトナムと日本の文化の違いが分かったら，いろいろな勉強になると思っています。

よろしくお願いします。

留学生歓迎懇談会

日本文化体験

新入生合宿研修報告

第１学年学級担任

恒例の学校行事である新入生合宿研修が，第1学年の新入生208名全員の参加を得て，４月10日から12日にかけて２泊３日で実施された。昨年は，東日本大震災の影響で，急遽，会場を変更し，また日程も１泊２日に短縮するなど，変則的な実施となったが，本年は日程も旧に復し，会場も使い慣れた「妙高青少年自然の家」で行われた。

新入生合宿研修は，「学生相互および学生と教員との接触を密にし，高専生活を円滑に始めるための準備を行う」ことと，「本校の規則を理解し，長岡高専生としての基本的な生活態度・姿勢を身につける」ことを，その目的としてうたっている。本校では，修学年限の５年間を通じて学級の顔ぶれが大きく変わることはない。学科単位で学級が構成されているからである。したがって，個々の学生にとって，学級が精神的に安心できる居心地のよい場になるかどうかは，学校生活の成否に大きく関わってくる。その意味で，高専生活の順調なスタートを促す新入生合宿研修は，重要な学校行事に位置づけられている。

なにぶんにも入学間もない時期の行事であり，学生同士も友人関係がほとんど構築できていない段階である。それだけに，出発時や往きのバス車中はあまりおしゃべりも弾まないことが多いが，帰りにはみな仲良しになりリラックスしているのが例年のことである。今回の合宿研修も同様であり，その意味では最大の目的を達成して成功裡に終わったといえるであろう。本校での学業・生活や諸規則に関するオリエンテーションももちろん大事だが，それ以上に学生相互の信頼感を醸成することがなによりも重要だと考えるからである。

研修は，公共文化施設や工場等の見学に始まり，研修施設入所後は，クラスミーティング・校長講話・学生主事講話・野外活動などのスケジュールが続く。研修の中身はもちろんだが，見学先や研修施設内でマナーに叶った行動をとることも，たいせつな指導事項になる。もっとも，今回の研修においても，例年どおりほぼすべての新入生は，節度と協調性を兼ね備えた行動をとって，実り多い合宿となった。

今回の文化施設見学は「野尻湖ナウマンゾウ博物館」であった。湖畔での発掘現場の見学や館内展示の見学に際しては，学芸員の解説を受けたが，その際の学生の姿勢態度もおおむねきちんとしており，また館のスペースの関係で２班に分かれての見学となったが，混乱することもなくスムーズな行動がとれていた。このような日常行動における的確さは，本校入学者の資質の高さを裏づけるものといって良いであろう。その後の研修においても，行動面に関して強い指導を要する場面はほとんどなかった。まことに頼もしい限りである。

「妙高青少年自然の家」到着後，１回目のクラスミーティングでは，自己紹介や学校生活上の留意点に関する話し合いなどが行われる。このあたりで新入生の緊張は徐々にほぐれてくる。クラスミーティングは合計４回を数え，学習上の留意点や学校の特性に関する話し合い，クラス役員の選出，英・数の課題テストなどが行われた。

本年度の新入生は，例年にも増して積極的かつ明朗で，フレンドリーな雰囲気を持っているように見受けられた。鈴木学生主事の講話の際には，全員が熱心に耳を傾けるとともに，話題が楽しい方向に進むとすぐに会場が笑い声に包まれた。終了後には拍手が鳴り止まないほどであった。それは渡邉校長の講話の際にも同様で，質問の手が次々に上がり，講話の終了後には和やかな雰囲気の中で写真撮影が行われた。

今回，野外活動として「雪像作り」を行う予定であったが，急遽，館内オリエンテーリングにプログラムを変更した。天候と学生の健康状態を考慮してのことである。今にして思えば，まことに的確な判断であった。実は今回の研修中に２名の学生が体調を崩し，途中帰宅している。新入生は，入学直後で生活環境が大きく変化しており，身体的・精神的に疲労が蓄積しやすい時期にある。引率者は，この点を肝に銘じて指導に臨まねばならない。そのようなことを，あらためて考えさせられた合宿研修であった。

現在，入学からはやくも４か月が経つ。１年生の多くは元気に学校生活を送っているが，今後も明朗快活な美質をたいせつにして，大きく成長していくことを念じている。

第47回（平成24年度）全国高等専門学校体育大会

今年度は中国地区で全国大会が開催されます。陸上競技、バスケットボール男子、ソフトテニス、柔道、バトミントン、水泳で全国大会出場を決めました。

1. 主　催　　一般社団法人 全国高等専門学校連合会
2. 後　援　　文部科学省
3. 担当校　　米子工業高等専門学校
4. 競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧表

競技種目		競技日程	開催校	競技会場
陸上競技		平成 24 年 8 月 25 日(土)～26 日(日)	米子工業高等専門学校	コカ・コーラウエストスポーツパーク 布勢総合運動公園陸上競技場
バスケットボール	男子	平成 24 年 8 月 18 日(土)～19 日(日)	米子工業高等専門学校	コカ・コーラウエストスポーツパーク 布勢総合運動公園県民体育館
	女子	平成 24 年 8 月 18 日(土)～19 日(日)	米子工業高等専門学校	コカ・コーラウエストスポーツパーク 布勢総合運動公園県民体育館
バレーボール	男子	平成 24 年 8 月 25 日(土)～26 日(日)	松江工業高等専門学校	鹿島総合体育館
	女子	平成 24 年 8 月 25 日(土)～26 日(日)	松江工業高等専門学校	鹿島総合体育館
ソフトテニス		平成 24 年 8 月 18 日(土)～19 日(日)	広島商船高等専門学校	びんご運動公園テニスコート
卓球		平成 24 年 8 月 18 日(土)～19 日(日)	津山工業高等専門学校	津山総合体育館
柔道		平成 24 年 8 月 23 日(木)	大島商船高等専門学校	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
剣道		平成 24 年 8 月 26 日(日)	米子工業高等専門学校	鳥取県立武道館
硬式野球		平成 24 年 8 月 18 日(土)～19 日(日)	徳山工業高等専門学校	周南市野球場 防府スポーツセンター野球場
サッカー		平成 24 年 8 月 25 日(土)～28 日(火)	宇部工業高等専門学校	維新百年記念公園 山口県立おのだサッカー交流公園
ラグビーフットボール		平成 25 年 1 月 4 日(金)，1 月 5 日(土) 1 月 7 日(月)，1 月 9 日(水)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール		平成 24 年 8 月 21 日(火)～22 日(水)	呉工業高等専門学校	呉市総合体育館オークアリーナ
テニス		平成 24 年 8 月 21 日(火)～23 日(木)	松江工業高等専門学校	晴天時：松江総合運動公園庭球場 雨天時：鹿島総合体育館
バドミントン		平成 24 年 8 月 25 日(土)～26 日(日)	米子工業高等専門学校	鳥取県立米子産業体育館
水泳		平成 24 年 8 月 26 日(日)	広島商船高等専門学校	広島市総合屋内プール（広島ビッグウエーブ）

寮行事紹介

寮生総会および対面式を開催

4月24日㈫に高志寮・清花寮の寮生総会が開催されました。会場となった寮の食堂は寮友会役員の指導で速やかに机，椅子が並びあっという間に総会仕様の部屋へと変化しました。寮生総会は全寮生（約300人）が参加し議長の進行により会計報告や役員の選出などが行われました。

これに引き続き対面式が行われました。対面式はまず，新しく選出された寮長や副寮長の紹介から始まり，寮務の先生方の紹介，そして今年度入学した編入生，留学生，新一年生が在寮生の前で元気よく自己紹介をするイベントです。一発芸なども飛び出し笑いの絶えないひとときとなりました。また，進行の寮長の名司会によりスムースな流れで終了することができました。

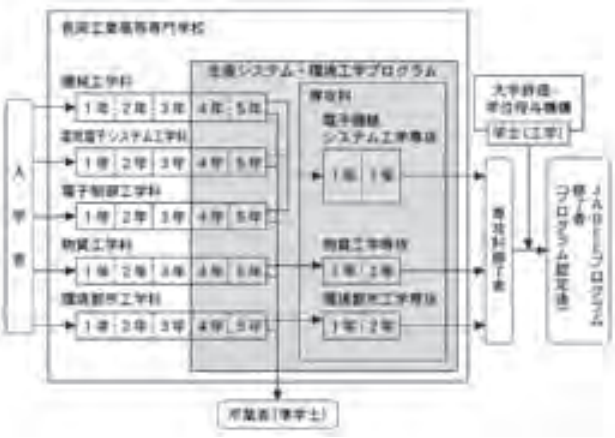
学生寮避難訓練を実施

5月9日㈬朝6時25分から学生寮防災訓練が実施されました，高志寮4号館2階捕食室から出火したとの想定で，学生自ら火災警報スイッチを押し大声で火災発声を知らせる，館内放送・119番通報を行うなど実際の場面に即した訓練で学生が自ら様々な体験をしてもらう訓練です。当日は長岡消防署職員の協力を得て，消防車1台，消防士4名が待機する中，早朝にもかかわらず速やかに避難が完了しました。解散後1年生を中心に消火器の使用訓練と女子寮での避難器具（ORIRO）の使用方法の指導を受け，訓練を終了しました。

■専攻科案内

高専は創設以来の５年間にわたる一貫した実践的技術者教育によって，地域産業の発展に寄与する多くの人材を輩出して，社会の期待に応えてきました。しかし近年の科学技術の高度化にともない，従来以上に高い技術開発能力とともに，問題発見・解決の出来る研究能力をも兼ね備えた新しい型の実践的技術者が求められています。

高専専攻科は，高専教育の特徴を保持しながら，より高度な教育・研究指導を行い，研究開発能力，創造力をもった先端技術に対応出来る実践的技術者の養成を行う，修業年限２年の課程です。「電子機械システム工学専攻」，「物質工学専攻」，「環境都市工学専攻」の３専攻があり生産システム・環境工学のプログラム名でJABEE認定を受けています。



■専攻科の特色

＜JABEE認定・学士号の取得・大学院への進学＞

専攻科修了により独立行政法人「大学評価・学位授与機構」が行う学修成果の審査及び試験に合格すると，学士（工学）の学位が授与されます。これにより，４年制大学の学部卒業と同じ学位になり大学院に進学できます。また、JABEE認定により修習技術者となり技術士補の資格が得られます。

＜少人数で充実した教育・研究＞

少人数によるきめ細やかな講義と特別研究・ゼミナールが行われています。各分野に及ぶ研究テーマの中から自らが選択し探求する研究プログラムを用意しており，研究室の指導教員のもとで研究に取組むことになります。

＜高専学科との継続性を重視した教育＞

高専５年間の教育を基礎として，それとの継続性を重視したカリキュラムを編成しています。将来の研究開発に必要な専門科目と，問題発見・解決できる実験技術者を育成するための実験・研究に多くの時間をかけています。

■学費（参考：平成23年度）

＜学費に関して＞

一般的な国立大学，私立大学の理工学部の授業料と比較すると，専攻科の学費は国立大学の1/2程度，さらに私立大学の1/3以下となっております。

	専攻科	国立大学	私立大学
入学料	84,600 円	282,000 円	200,000 円
授業料（年額）	234,600 円	535,800 円	880,000 円

（注）国立大学，私立大学の入学料・授業料は目安であり，大学・学部によって異なります。

■進路

産業分類別就職状況

産業分類別		企業名	専攻名			
			電子機械システム	物質	環境都市	計
建設業		エヌ・ティ・ティ・インフラネット㈱			2	2
		㈱熊谷組			1	1
製造業	繊維工業	㈱クラレ		2		2
	化学工業	中外製薬工業㈱		1		1
		旭化成ケミカルズ㈱		1		1
		三菱ガス化学㈱		1		1
	鉄鋼業	大平洋特殊鋳造㈱	1			1
	生産用機械器具製造業	㈱ツガミ	1			1
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	TDKラムダ㈱	1			1
		栄通信工業㈱	1			1
	電気機械器具製造業	ソーラーフロンティア㈱	1			1
	情報通信機械器具製造業	三菱電機特機システム㈱	1			1
情報通信業		㈱テレコメディア			1	1
運輸業		㈱ネクスコ・メンテナンス新潟			1	1
専門・技術サービス業		㈱開発技術コンサルタント			1	1
公務		新潟県警察	1			1
		新潟市水道局			1	1
計			7	5	7	19

■昨年度の表彰

1．独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

	受賞理由
電子機械ｼｽﾃﾑ工学専攻 山口 幸士	第21回太陽光発電国際会議（PVSEC-21）において「Student Paper Award」を受賞。同国際会議において高専生が口頭発表を行った例は無く，「Student Paper Award」の受賞も初であり，高専の研究水準の高さを世界に知らしめた。

2．学則に定める賞の受賞者一覧彰

賞の名称	氏名	学科・専攻	受賞理由
特別表彰	斎藤 紘	電子機械ｼｽﾃﾑ工学専攻	２学年前期までの平均点が学年で最も高く，学業成績が優秀である
	山口 幸士	電子機械ｼｽﾃﾑ工学専攻	第21回太陽光発電国際会議（PVSEC-21）において「Student Paper Award」を受賞
	大嶋 義章	環境都市工学専攻	平成21年5月に学生国際協力団体「USAY」を立ち上げ，東日本大震災の仮設住宅にカーシェアリング協会と協力して自動車を贈呈する等活動の様子が全国メディアに紹介され，長岡高専のアピールに大きく寄与した
	齋藤 良一	環境都市工学専攻	平成23年度土木学会トンネル工学研究発表会優秀講演奨励賞を受賞

3．各種学会賞の受賞者一覧

賞の名称	氏名	学科・専攻
電子情報通信学会信越支部　学生奨励賞	風間 裕樹	電子機械システム工学専攻
電子情報通信学会信越支部　学生奨励賞	進士 智一	電子機械システム工学専攻
第21回太陽光発電国際会議（PVSEC-21）「Student Paper Award」	山口 幸士	電子機械システム工学専攻
平成23年度土木学会トンネル工学研究発表会　優秀講演奨励賞	齋藤 良一	環境都市工学専攻

研究室紹介

電磁波工学研究室の紹介

電子機械システム工学専攻2年　**山田　隼也**

電磁波工学研究室には現在，専攻科2年生2人，1年生1人，本科生4人が所属しています。本研究は主にMSA（マイクロストリップアンテナ）の特性向上や小型化の研究などをテーマに日々の研究に取り組んでいます。本研究室は2部屋あり普段研究を行うワイヤレス研究室ではFDTDによるアンテナの設計と解析を行っています。電磁波工学研究室では設計に沿ってアンテナの作製と評価を行っています。研究室の雰囲気は結構みなさん黙々と研究や作業をしています。時には談笑もあり決して厳しい環境ではありません。結構マイペースです。

研究室配属先が決まり新年度を迎える前の春休みに研究の基礎となるソフトや機器の使い方を学ぶ合宿があります。この合宿により，早期に個人テーマの研究を取り組めるため，より専門性に特化した研究を行うことができます。また，学会発表を行うなど，在学中に多くの良い経験ができる研究室です。

固体化学研究室の紹介

物質工学専攻2年　**下村　拓実**

私が所属している固体化学研究室は現在，本科生4人，専攻科生1人が所属しています。研究室はいつもフレンドリーで楽しい雰囲気で研究しています。

私の研究テーマは「$M_{2.5}Bi_{0.5}Ti_{1.5}Nb_{3.5}O_{15}$（M=Sr,Ba）セラミックスの作製と電気的性質」というものです。本科生の4人も組成を変えたセラミックスの研究をテーマにしています。

私たちの研究室は自分の自由な時間に研究を進めることができるので，他の研究室に比べて比較的に自由度が高いことが特徴です。研究は大変ですが挑戦することが多く，やりがいを感じられる研究テーマだと思います。また，普段見慣れないような実験装置・測定機などもたくさんあるのでそういうものも使ってみたいという人はきっと楽しいと思います。

これから4年生は研究室選びがあると思いますが，固体化学研究室は楽しい研究室ですよ！

専攻科生として都市計画研究室に残って

環境都市工学専攻1年　**小野塚　健悟**

自分は都市計画研究室に残り，専攻科生として研究をしています。都市計画研究室の研究は都市に関することや交通関連，景観など研究があります。

この研究室のいいところはとにかく冷房の効きがいいところです。研究室は4階にあるのですが，3階の研究室とは温度が2℃も違います。とにかく夏場は快適に過ごせます。それに研究室内も広く一人ひとりに自分のスペースがあり，研究はもちろん課題も自由にこなせます。しかも今年から部屋数が2つになって，増えた部屋に籠ることもできるようになりました。比較的，快適に過ごせると思いますが，ただ最近になって辛いと思うことは階段に上がることですかね。

4年生になると自分が入る研究室のことを考えると思いますが，誰かの噂とかで決めるのではなく，興味をもった研究で決めるなど，実際に研究室を見学しに行ってどんな環境なのか，どんな雰囲気なのかを感じてから決めるのがいいと思います。また進路のことを考えていない人はもしかしたら専攻科に行くかもしれないので，研究室選びはよく考えてしましょう。

平成24年度　専攻科生の特別研究テーマ一覧

電子機械システム工学専攻

学年	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
I年	猪俣　光生	バイモルフ圧電素子を用いたフライトアクチュエータの過渡特性	梅田　幹雄
I年	梅澤　将充	模擬高層ビル配筋の雷インピーダンス特性	恒岡まさき
I年	小川　貴史	Cu-Zn-Sn-S系結晶の作製と評価	大石耕一郎
I年	品田　貴裕	超小形平面アンテナの開発	田口裕二朗
I年	高橋　克哉	化学ドープを用いた単層型有機EL素子の作製と評価	皆川　正寛
I年	田中　　涼	CZTSSe薄膜作製時の熱処理の検討	片桐　裕則
I年	田村　英継	P型材料を用いた新規N型駆動OFETの開発	皆川　正寛
I年	土田　祐介	有機EL素子におけるrolloff特性の改善	皆川　正寛
I年	中澤　拓史	携帯性を考慮した拡張現実感による教材開発	高橋　　章
I年	中山　　岳	多関節平板の振動特性の解明	山岸　真幸
I年	長谷川岳志	バルクヘテロ有機太陽電池の温度特性評価	皆川　正寛
I年	深井　翔太	太陽電池用化合物半導体の光学的特性評価	山﨑　　誠
I年	増田　健太	可搬貯雪庫を用いた冷水循環式雪冷房に関する研究	河田　剛毅
I年	三本　浩司	化学ドーピングによる有機EL素子の温度依存性改善	皆川　正寛
I年	山崎　　拓	逐次蒸着法によるCZTS太陽電池の作製	片桐　裕則
2年	青海　尚登	無給電素子分割法による小形同一面オフセット給電MSAの広帯域化	田口裕二朗
2年	阿部　　駿	冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の改善	河田　剛毅
2年	淡路　健人	自律車両ロボットの移動制御 −遠隔操作支援システムの構築−	佐藤　拓史
2年	飯塚　悠気	貯雪の材料力学的強度の評価	河田　剛毅
2年	飯濱　浩平	ユーザビリティの改善を狙った小型船舶用電子制御操舵系の開発	外山　茂浩
2年	河合孝太郎	フォトポリマーホログラムにおける角度多重記録の基礎研究	長部　恵一
2年	小池　貴之	M系列信号を用いた蛍光測定システムの開発	矢野　昌平
2年	駒形　隼仁	アクティブ照光を用いた三次元物体計測について	高橋　　章
2年	全　　潤樹	小型送風機の低流量域に発生する騒音に関する研究	吉野　正信
2年	野口　隼人	DS/SS通信の符号ダイバーシチ用拡散系列の提案と性能評価	太刀川信一
2年	林　　風騎	遠隔臨場感における再現空間の高品質化について	高橋　　章
2年	樋口　健人	同時蒸着法によるCZTS太陽電池の作製	片桐　裕則
2年	宮川　祐人	接着層厚さを考慮した異材接合部の応力解析	近藤　俊美
2年	山田　隼也	雪崩予測を目的としたMSAスノーセンサを用いた3層モデルによる雪中含水率計測	田口裕二朗

物質工学専攻

学年	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
I年	粟飯原直也	レアメタルフリー化合物系薄膜太陽電池の作製	荒木　秀明
I年	小林　大記	食用キノコのリポキシゲナーゼの生化学的性質	田﨑　裕二
I年	広川　卓也	プロピオン酸菌の脂質代謝改善機能について	菅原　正義
I年	村山　隼人	アカミミズ（Lumbricus rubellus）分泌液中に含まれるタンパク質の解明	赤澤　真一
2年	久住　拓司	TiO_2微粒子層を有する有機薄膜太陽電池の試作	坂井　俊彦
2年	近藤　位旨	ラットにおける湿熱処理高アミロース米長期投与の影響	菅原　正義
2年	坂牧　康平	樹木のミトコンドリア部分阻害が葉緑体エネルギー散逸過程に与える影響	赤澤　真一
2年	下村　拓実	タングステンブロンズ型セラミックス$M_5Bi_3Nb_7O_{30}$（M=Ba, Sr）の作製と電気的性質	岩井　　裕
2年	横山　圭佑	アカミミズ（Lumbricus rubellus）に含まれるエンドグルカナーゼの発現解析	赤澤　真一

環境都市工学専攻

学年	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
I年	阿部　哲雄	鉄筋腐食を生じた鉄筋コンクリートの付着性状に関する研究	村上　祐貴
I年	荒川　　涼	臨海部における大規模土留め壁に生じた軸力の発生メカニズムに関する研究	岩波　　基
I年	板場　建太	大深度円形立坑地中連続壁に作用する水圧に関する研究	岩波　　基
I年	岡村　祥子	地球温暖化による世界の水資源影響評価	山本　隆広
I年	小野塚健悟	地方都市周辺部集落における家族構成からみた住民意識と建築確認申請について	宮腰　和弘
I年	金子　生樹	局所的に鉄筋腐食を生じたＲＣ部材の耐荷性状に関する研究	村上　祐貴
I年	駒形　　亮	経年および塩害による劣化コンクリート構造物の調査	井林　　康
I年	中島　健人	橋梁の点検調査結果の分析について	井林　　康
I年	番場　俊介	腐食した鉄筋コンクリートの付着応力〜すべりモデルの構築	村上　祐貴
2年	赤原　健太	道路橋の概略点検システム構築に関する研究	井林　　康
2年	安藤　恭平	加速を伴う傾斜壁面密度流の数値解析	衛藤　俊彦
2年	五十嵐彩絵	科学教育の普及活動から見た持続的な科学館の在り方	宮腰　和弘
2年	金塚　智洋	鉄筋腐食に伴い定着不良を生じたＲＣはり部材のせん断耐荷性状評価	村上　祐貴
2年	関　由里絵	嫌気性原生動物の補食作用が嫌気性細菌叢に及ぼす影響	荒木　信夫
2年	高橋　竜司	共生培養法を用いた新たな細菌種の探索	荒木　信夫
2年	長岡　和真	鉄筋腐食を生じた鉄筋コンクリートの拘束圧に関する研究	村上　祐貴

新任教職員紹介

長岡高専に赴任して

機械工学科　助教 井山　徹郎

今年の3月より，機械工学科に着任いたしました井山徹郎と申します。私は2003年に函館高専を卒業し，その後，長岡技大で学生として4年間，技術職員として約5年間在籍しておりました。長岡の地に来て早10年になろうとしておりますが，悠久山の麓から見る長岡の自然あふれる美しい町並みは新鮮そのものです。

私は機械加工を専門としております。私が高専に入学した年の4月に，機械工作実習という科目で旋盤という機械を使うことがなければ，現在の道に進むことはなかったかもしれません。私のこれまでの人生にとって，それほど高専はかけがえのないものです。私がこれまでに出会った友人，先輩，後輩，恩師のほとんどが高専関係者で埋め尽くされており，一人ひとりが非常に個性的で魅力あふれる人ばかりです。それも偏に高専というすばらしい環境で勉学と遊びに励んだから，そしてそんな学生達と親密に接してこられた先生達だからだと思います。

これまでお世話になった高専に少しでも恩返しができるよう，そして学生のみなさんが有意義な学校生活を送れるように，微力ではありますが精一杯がんばりたいと思います。どうぞ，よろしくお願いいたします。

高専－技大間の人事交流

機械工学科　准教授 倉橋　貴彦

今年度の4月より長岡技術科学大学の機械系から本校の機械工学科に赴任しました倉橋貴彦と申します。専門は計算力学で，主に数値シミュレーション（有限要素法や，逆解析関連について）に関する研究を行っています。

赴任以来，1か月半程度経ちましたが，大学とは異なる点を色々と感じております。挨拶は基本的なことですが，高専の中では新学期始めに立哨指導をしていることもあり，挨拶をする学生が多い様に感じます。教室には日直が居て，「起立・気を付け・礼」で始まる授業は自分が学生の時以来で，大変新鮮に感じています。他の印象としては，普段，教員の居室前に多数の学生が居て，就職活動に関する相談も含めて教員を頼る学生の姿が多く見受けられます。このようなことは，学生と教員の信頼関係が築けていないと見られないと思いますし，日々，先生方が学生に対して生活面や学習面をしっかりケアをしているから生まれる光景のようにも感じました。教員と学生の一体感は学内の雰囲気も良くすると思いますし，自分も他先生方と一緒に学生との良い信頼関係を築けるように行動してけたらと思っております。大学と高専の違いはまだこれからも多々見受けられると思いますので，大学に戻った際に活かせる様に2年間，精一杯頑張りたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

長岡高専に赴任して

物質工学科　助教 奥村　寿子

今年度4月より物質工学科に赴任しました奥村寿子です。どうぞ，よろしくお願いいたします。

長岡高専に来てから2か月ほど経ちましたが，何やら最近，「あぁーあぁー高志台ぃ～♪」の歌詞がたびたび頭の中で流れています。そろそろ長岡高専にも馴染んできたみたい？です。

ところで私は，三重県の鈴鹿高専の卒業生です。卒業後，金沢大学に編入学して大学院を修了し，つくばと東京の研究所に勤務した後，この長岡高専に来ました。最近まで，モノを相手に黙々と「研究業務」をしていた時と比べると，長岡高専では毎日たくさんの人と関わることができるし，それだけ多くのことを学べるので，日々とても楽しく過ごしています。学生にも，この長岡高専の自由な校風の中で，仲間を大切にしながら，勉強やクラブ活動でたくさん遊んで，たくさん学んでほしいと願っています。教員としては，まだまだかなりの未熟者ですが，今後，色々なことに挑戦して，学生とともに成長していきたいと思っています。

長岡高専に赴任して

物質工学科　助教 河本　絵美

今年度4月より，物質工学科に赴任しました河本絵美と申します。この度，本校に赴任する機会をいただき嬉しく感じるとともに，専門性の高い知識や技術を習得する教育機関であることに大きな責任も感じております。

私は，これまでに，身体活動が有する2型糖尿病予防効果について研究を行ってきました。とくに，血液中の糖分（血糖）の大部分を取り込んでいる骨格筋に着目し，運動や日常生活活動がどのような分子機序で骨格筋の糖代謝能力に影響を及ぼすのかについて検討を行っています。今後は，食事による筋の糖代謝能力の変化についても深く研究していきたいと思っています。学生の皆さんには，もっとも身近なからだの中で起こる現象を通して生化学的な知識や技術を伝えていけたらよいと考えています。

不慣れな点が多々ありますが，皆さんのお役にたてるよう，最善を尽くしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

≪事務部長≫
星　操

●趣味
ウォーキング，ゴルフ
●抱負
本年４月に埼玉大学から本校に赴任しました星です。これまで，福井高専，東京高専に勤務した経験があり，３度目の高専勤務となります。これまでの経験を生かして長岡高専の発展のために微力ながら誠心誠意努める所存です。よろしくお願いします。

◇◇

≪学生課長≫
小林　喜與志

●趣味
ご当地巡り，長岡周辺及び新潟を散策したいです。
●抱負
小山高専から異動してきました。長岡も新潟もはじめてです。悠久の意味に永遠続くとあります。悠久の名の如く長岡高専に少しでも役立てればと思います。

◇◇

≪総務課課長補佐（会計担当）≫
井部　達也

●趣味
スポーツ全般（マラソン，スキー，バウンドテニス，剣道など）
●抱負
４月に新潟大学から参りました。高専は，大学と違った雰囲気で，とても新鮮に感じております。微力ではありますが，長岡高専のためにがんばりたいと思います。

◇◇

≪学生課教務・入試グループ≫
柴田　久美子

●趣味
音楽鑑賞（クラシック）
学生時代に「モーツァルトの曲が頭にいい」という噂を耳にし，物は試しと聴いてみたら嵌りました。百年単位で受け継がれているのはさすがです。
●抱負
新採用で長岡高専の一員となりました。まだまだ至らない点が多いですが，日々精一杯頑張って，毎日少しずつでも成長していきたいです。よろしくお願いします。

今年度の遠足に関して

機械工学科４年　**辻本　竜太**

５月10日㈭に行われた遠足は，残念ながら雨により中断という結果になってしまいました。遠足実施の判断を始め，当日朝の運営の滞り，中断後の対応の悪さなど，改善すべき点が多くあったと自覚しています。大変申し訳ありませんでした。

私は遠足の企画運営に携わり，多くの学生が遠足の実施を望んでいないと感じていました。もちろん遠足を楽しみにしていた学生もいます。しかし学生主体の学生会行事において，多くの学生がその行事を望んでいないのであれば，行事の在り方を考え直す必要があるのではないかと感じます。以上の反省のもと私は，全学生が楽しめる有意義な学生会行事が行えるよう，今後も尽力したいと思います。

最後になりましたが，遠足実施に関して，学生課学生支援担当の方々，学生支援委員会の先生方，東山ファミリーランド施設長和田さん，国内フードサービスの方々，学生会役員の皆さん，他にもたくさんの方々からご協力頂きました。本当にありがとうございました。

遠足と今後の企画ついて

電気電子システム工学科４年　**村上　美優**

結局，遠足は雨でした。文化委員全員は今年度から学生会に入った新役員で，正直右も左も分からない状態で必死に遠足の準備を進めてきました。私としてもその苦労が水の泡となり，非常に残念です。来年はこのようなことがないように決行の判断をより慎重に行おうと思います。遠足で余った賞品を使い，誰でも参加できる楽しい企画を文化委員全員で考えています。皆さんも面白い案がありましたらぜひ教えて下さい。最後に，今回の遠足を通して沢山の人と携わり，企画を運営するということは良い経験になりました。これからも色々な学生会行事でがんばっていこうと思います。また，皆さんあっての行事なので面倒だとは思いますが出席をお願いします。

TOPICS

名誉教授称号授与式

4月17日㈫に本校応接室において，名誉教授の称号授与式が執り行われ，渡邉和忠校長から本年3月に退職された下記の二氏に対して，多年にわたり本校に勤務され教育および学術上の功績により，長岡高専名誉教授の称号が授与されました。

石田博樹（元電子制御工学科・教授）
加藤正直（元物質工学科・教授）

瑞宝小綬章受賞

本校植木邦昌名誉教授が春の叙勲で瑞宝小綬章を受賞されました。これは，長年にわたり同氏が本校の教育の発展に貢献した功績が認められたものです。

科研費交付一覧

平成24年度の科研費補助金の採択は継続10件，新規1件でした。新規分のみ下表に示します

研究代表者	研究種目	研究課題名
田原　喜宏	若手研究(B)	ファインマン・カッツ汎関数に基づく確率解析とポテンシャル場への応用

公開講座

日　時	対　象	実験テーマ
8月21日㈫	小学生・保護者 20組， 中学生　20名	物質工学科　サイエンスフェスタ2012～工作と実験で科学を楽しもう（ロウケツ染め，電気の不思議，酵素パワー）

春のクリーン作戦

4月19日㈭に恒例のクリーン作戦が行われました。心地よい日差しの中，全学生が分担してキャンパス内の清掃及び校外の周辺地域でのゴミ拾いを行いました。本活動は，地域での奉仕活動の一環として地域住民の方々にも大変喜ばれています。

オープンキャンパス

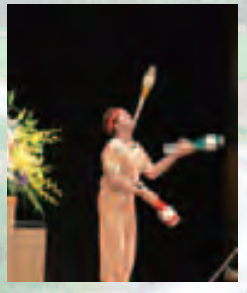
8月4日㈯，5日㈰に学科ごとに体験学習を実施いたします。また，学科紹介・入試説明や校内施設の見学ツアーも行われますので，身近におられる中学生にも参加を勧めてください。詳細につきましてはホームページをご覧ください。

実施学科	体験学習テーマ
機械工学科	①Design&Production CAD/CAMシステム体験 ②What's メカ?
電気電子システム工学科	①電気科お楽しみ工学I［LEGOで学ぶロボット］ ②電気科お楽しみ工学2「カー音ー超伝導の不思議工学」
電子制御工学科	①プログラミングを体験しよう！ ②ロボットで遊ぼう！
物質工学科	①あなたも科学捜査官になれるかな！血痕と指紋を検出してみよう ②生物パワーに迫れ！！
環境都市工学科	①暮らしを守る「小」と「強」 ②都市を支える「橋」と「水」

学生会による新入生歓迎行事

4月5日㈭入学式前に学生会の呼びかけに応じて多くの体育系・文化系クラブが，クラブ紹介のビラ配りを行いました。また4月6日㈮始業式後の午後から学生会主催で，新入生対象のクラブ紹介がありました。各クラブがパワーポイントなどを駆使して，一人でも多くの新入部員を獲得しようとプレゼンを行いました。新入生には全員クラブ登録を行ってもらい，充実した5年間を過ごして欲しいと思います。

創立50周年記念事業

6月2日㈯に創立50周年記念事業が開催されました。

(1) 記念講演会：数学者・大道芸人のピーターフランクル氏による講演「真の国際人を目指すために」
(2) 記念式典：奈良文科省審議官，小畑高専機構理事長，新原長岡技科大学長，榊豊橋技科大学長，県内大学の学長，学術交流協定校の中国黒龍江工程学院及び南海東軟信息技術職業学院の学院長・先生，高田前校長，山﨑技術協力会長，伊藤同窓会長，古田島後援会長ほか，多数の同窓生並びに現・旧教職員の出席のもと盛大に挙行された。
(3) 記念祝賀会（記念式典に引き続いて行われた）
なお，記念事業の司会進行は平成3年3月本校工業化学科を卒業された渡辺裕子さんにより行われた。